

令和5年度 鹿児島工学院専門学校 自己点検・評価

1. 学校教育基本方針 (教育理念)	学校教育法第124条の専修学校の目的と川島学園創立の精神に基づき、高度化・専門化・多様化・国際化の進む社会に即応できるより高度な専門能力とより豊かな資質・個性を備えた全人的職業人を育成する。
教育目標	<p>1. 教師は「教え育てる」を旨とし、「自己啓発」に努め「率先垂範」に心がけ、組織の中にあっては「和合」を旨とする。</p> <p>2. 学生は「自立自興」「不屈不撓」の精神をもって、絶えず学習に専念し、知性・技量を磨き、将来の向上発展を期す。</p> <p>(1) 心・徳の修練：心は言動の基。真心・情熱・信念をもって行動し、信義・礼節を重んじ、心豊かな人格・人徳の向上を図る。</p> <p>(2) 知・技の修練：知は物事を判断する心情。知力・知性・知識の修練に励み、人格形成と同時に技量の向上と奥義を究める。</p> <p>(3) 体・行の修練：体は心の鏡。規則正しい生活習慣を持続し、心身ともに健全な人格の形成に邁進する。</p>

2. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標 評価の基準 (4 : 適切, 3 : ほぼ適切, 2 : やや不適切, 1 : 不適切)

評価項目	評価
1. 学校の教育理念・教育目標・育成人材像は定められているか	3.7
2. 社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を中長期的に抱いているか	3.1
3. 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3.5
4. 教育理念・教育目標・育成人材像・特色などが学生・保護者等に周知されているか	3.2

<具体的取り組み>

・学校の教育理念・教育目標・育成人材像を全教員が理解する場を設け、入学式・オリエンテーション等で学生及び保護者への周知・HPでの公表を行っている。また、各業界との連携を図り、ニーズに則ったものであるよう見直しを行っている

<今後に向けた取り組み・課題・改善策>

・ホームページ上で3つのポリシー(ディプロマ・カリキュラム・アドミッション)を公表しているが、保護者に対し周知が足りているとは言えないため、教職員が理解の上、オープンキャンパスや学校説明会等で周知を図れるよう努める。

(2) 学校運営

評価項目	評価
1. 学園・学校の運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3.6
2. 運営組織や意志決定機能は規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3.1
3. 人事、給与に関する制度は整備されているか	3.3
4. 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3.1
5. 教育活動に関する情報公開が適切になされているか	3.5
6. 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3.0

<具体的取り組み>

- ・事業計画・校務分掌等については常に見直し、適切に機能するよう職員会議等で共有している。HPやSNSを活用し積極的な情報発信に努めている

<今後に向けた取り組み・課題・改善策>

- ・さまざまな面の負担軽減を図れるよう、今後も具体的なシステム構築のための情報収集・検討・対策に努める。

(3) 教育活動

評価項目	評価
1. 教育理念・教育目標・育成人材像に沿った教育課程の編成・実施方針（カリキュラムポリシー）等が策定されているか	3.7
2. 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保が明確にされ、体系的に編成されているか	3.4
3. 関連分野の企業・業界団体等との連携、業界のニーズを踏まえ、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3.3
4. 関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	3.3
5. 学生の社会的・職業的自立を促すキャリア教育及び実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3.2
6. 資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3.3
7. 授業評価の実施・評価体制はあるか	3.4
8. 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3.5
9. 人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3.0
10. 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3.1
11. 教員の資質向上、指導力向上のための研修等が行われているか	3.1

<具体的取り組み>

- ・教員自らも、日々、スキルアップに努める姿勢を見せ、学生の資格取得に対する意識向上に努めている。

<今後に向けた取り組み・課題・改善策>

- ・学籍簿管理については、効率と正確性を意識し整備しているが、募集活動及び入試管理まで含めた一元管理できるシステム導入には至っていない。さまざまな面の負担軽減を図れるよう、今後も具体的なシステム構築のための情報収集・検討・対策に努める。

(4) 学修成果

評価項目	評価
1. 就職率の向上が図られているか	3.6
2. 資格取得率の向上が図られているか	3.4
3. 退学率の低減への取組みが適切に行われているか	3.0
4. 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3.0
5. 卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか	2.9

<具体的取り組み>

- ・遅刻・欠席が目立つ学生については、担任を中心に原因把握をした上で、学業との両立について改善策を具体的に指導し、本人の意識向上に努めている。

<今後に向けた取り組み・課題・改善策>

- ・企業との情報交換は適時行っているが、十分とは言えないため、本校での学びが卒業後にどのように効果・成果があったかを把握し、教育活動の改善に繋げていく。

(5) 学生支援

評価項目	評価
1. 進路・就職に関する支援は適切に行われているか	3.8
2. 学生相談に関する体制は整備されているか	3.2
3. 学生の経済的側面に対する支援体制の整備、修学支援は適切に行われているか	3.6
4. 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	2.9
5. 課外活動に対する支援体制は整備されているか	3.1
6. 親元を離れている学生の生活環境への支援は行われているか	2.9
7. 保護者と適切に連携しているか	3.4
8. 卒業生への支援体制はあるか	3.1
9. 高校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組みが行われているか	2.9

<具体的取り組み>

- ・進路指導については、担任を中心に学科・進路部が連携し、本人の希望・適性をもとに就職活動を促し、面接対策等の採用試験に必要な取組みを行っている。

<今後に向けた取り組み・課題・改善策>

学生相談について学外の専門カウンセラーの配置は行っていないため、その分野の整備を急ぎたい。

(6) 教育環境

評価項目	評価
1. 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	2.6
2. 実習施設、インターンシップ、国内研修等について十分な教育体制を整備しているか	2.9
3. 防災に対する体制は整備されているか	3.1

<具体的取り組み>

- ・施設・設備については、劣化が見られる箇所には、適時、改修等を行っている。また、授業に必要な備品等についても計画的に導入し、授業の充実を図っている。また、防災訓練も新入生入学時期に適切に実施している。

<今後に向けた取り組み・課題・改善策>

- ・業界の動向、ニーズを把握し、適切な教材導入・整備に努める。

(7) 学生の受入れ募集

評価項目	評価
1. 入学者受入れの方針（アドミッションポリシー）に基づき、学生募集は適切に行われているか	3.5
2. 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3.4
3. 公正かつ適切に入学者選抜を行っているか	3.7
4. 学納金は妥当なものとなっているか	3.5

<具体的取り組み>

- ・学校説明会やオープンキャンパスの際に、入学者受入れの方針や資格取得率・進路決定率等の教育成果を適切に伝え、募集活動および入学者選抜を公正に実施している。

<今後に向けた取り組み・課題・改善策>

- ・学納金については社会情勢を注視しながらも、引き続き、学生の学ぶ意欲を損なわない設定に努める。

(8) 財務

評価項目	評価
1. 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3.0
2. 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3.0
3. 財務について会計監査が適正に行われているか	4.0
4. 財務情報公開の体制整備はできているか	3.0

<具体的取り組み>

- ・学納金については有用性はもとより中長期的に適切に管理し、学生の教育環境の整備に注力している。

<今後に向けた取り組み・課題・改善策>

- ・財務情報公開等の適切な開示に今後も努めていく。

(9) 法令等の遵守

評価項目	評価
1. 法令, 専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3.5
2. 個人情報に関し, その保護のための対策がとられているか	3.3
3. 自己点検・評価の実施と問題点の改善に努め, また, 結果を公開しているか	3.4

<具体的取り組み>

- ・各省庁, 学事法制課学納金については有用性はもとより中長期的に適切に管理し, 学生の教育環境の整備に注力している。

<今後に向けた取り組み・課題・改善策>

- ・個人情報の取り扱い及び管理について更なる意識向上に努める。

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	評価
1. 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3.0
2. 学生のボランティア活動を奨励, 支援しているか	2.8

<具体的取り組み>

- ・本校施設を公開し, 中高生への職業理解, 業界説明, 体験授業等を行い, 将来の展望を考える職業教育の一端を担えるよう努めている。

<今後に向けた取り組み・課題・改善策>

- ・近隣地域への貢献として, 清掃作業含め, ボランティア活動の実施に努めていく。